

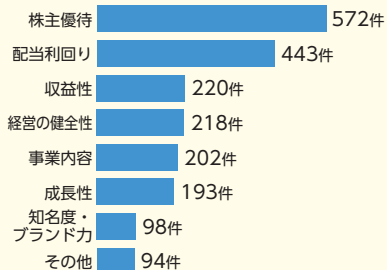
株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	■公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.dnt.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
■基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末3月31日 中間9月30日	■単元株式数	100株
■定時株主総会	毎年6月	■上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード4611)
■株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社	(ご注意)	
■同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 (〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料)	1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。	
		2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。 なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。	
		3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。	

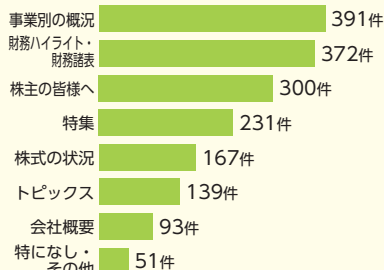
株主アンケート結果のご報告

前回の株主通信(第141期中間報告書)にて実施したアンケートにつき、ご協力いただき誠にありがとうございました。アンケートの結果を踏まえ、株主還元に関する記載の充実や、事業内容・経営戦略についての項目を設けるなど、内容の見直しを行いました。今後も定期的にアンケートを実施させていただく予定ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。アンケートの結果概要は以下の通りです。

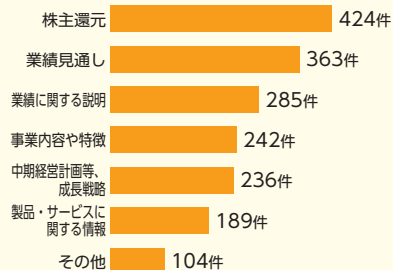
当社に投資する決め手となったポイント(複数選択可)



株主通信で関心のあったページ(複数選択可)



今後、株主通信への記載を充実、希望する情報(複数選択可)



調査期間：2023年11月30日～2023年12月31日 回答数：853件

投資家情報サイトはコチラ▶
<https://www.dnt.co.jp/ir/>



IRメール配信サービスのご登録はコチラ▶
<https://www.dnt.co.jp/ir/support/mail/>

Eメールアドレスをご登録いただいた方へ、当社のIR情報更新、決算・中期経営計画の状況のほか、株主・投資家の皆様へのご案内などをタイムリーに配信(無料)いたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

DNT

DAI NIPPON TORYO

第141期報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

大日本塗料株式会社



代表取締役社長

里 隆 幸

経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長の里 隆幸でございます。株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、当社の連結子会社である岡山化工株式会社が製造するJIS製品において、社内で定めた検査規格に係る検査値の改ざん等の不適切行為が判明し、昨年10月26日付でJIS認証機関よりJISマーク表示の一時停止処分を受けました。株主の皆様には多大なるご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。社外の弁護士等で構成される特別調査委員会で全容の解明に向けて調査を行っております。一時停止処分については本年3月7日付で解除に至りましたが、当社は今回の事態を重く受け止め、全力を挙げて再発防止の徹底と信頼の回復に向けて取り組んでまいります。

2023年度の業績

2023年度(当期)の当社グループの経営成績については、売上高は、国内塗料事業において粉体製造子会社の合弁解消影響及び上記の不適切行為問題の影響による需要減速により前期を下回り、719億4千万円(前期比1.2%減)となりました。利益面では、照明機器事業における収益力強化及び価格是正の浸透により、営業利益は49億1百万円(同24.2%増)、経常利益は53億3千6百万円(同23.6%増)となりました。また、資本効率の向上とグループ資産の有効活用を目的とした政策保有株式の縮減及び固定資産の譲渡の実施により特別利益を計上したこと、親会社株主に帰属する当期純利益は46億円(同33.0%増)となり

ました。

これにより、当期の期末配当金につきましては、前期より10円増配の1株当たり35円とさせていただきます。今後とも安定的な配当を継続して実施すべく、財務体質の健全性強化に努めてまいります。

2024年度の業績見通し

2024年度の連結業績予想につきましては、売上高は各セグメントで需要増加を見込んでおり、740億円(当期比2.9%増)を計画しております。一方、利益面では人件費・物流費の上昇や基幹系システムの更新に伴うコスト増を加味し、営業利益42億5千万円(同13.3%減)、経常利益45億円(同15.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益38億円(同17.4%減)を見込んでおります。

「2026中期経営計画」スタート

当社グループでは、従前より創立100周年を迎える2029年度におけるありがたい姿として、連結売上高1,000億円、連結営業利益100億円を達成することを中長期目標としております。

2023中期経営計画(2020年度～2023年度)では持続的成長の実現に向けた基盤整備と成長軌道の確立を目指し、売上高750億円、営業利益66億円を計画しました。売上高は当初計画に盛り込んでいなかった粉体製造子会社の合弁解消影響を除いた実質ベースで計画を達成できました。一方、営業利

益についてはコロナ禍の経済活動停滞やその後の急激な原材料コストの高騰に対し、原価低減と価格是正を進めてまいりましたが、販売数量の伸び悩みもあり残念ながら達成することができませんでした。

2024年度を初年度とする2026中期経営計画の策定においては、経営理念を改めて見つめ直したうえで当社グループのマテリアリティを再定義し、資本効率性と企業価値の向上の観点から上記の中長期目標にNOPAT(税引後営業利益)-ROE8%程度とDOE(株主資本配当率)5%の指標を追加した「ビジョン2029」を掲げることいたしました。2026中計は、このビジョン2029からのバックキャストと2023中計の振り返りに基づき、3年間でやるべきことをまとめたものです。基本方針や具体的な施策については本報告書の7ページに記載しております。最終年度となる2026年度の連結業績は、売上高800億円、営業利益80億円、NOPAT-ROE8%程度を目標とし、DOE3%到達を目指してまいります。本業での事業成長を追求しながら、長期安定的な配当を確実に実施し、PBR1倍以上の実現に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024年6月

こんなところにDNT

当社は総合塗料メーカーとして、防食技術を礎に様々な分野で人の暮らしを支えています。
また、塗料で培った技術を応用し、照明機器事業や蛍光色材事業、インクジェット用インクの事業も手掛けています。

構造物・重防食用塗料

当社が業界トップシェアを誇っている分野です。橋梁やプラントをはじめとする大規模構造物を腐食・さびから護り、長寿命化に貢献しています。

蛍光色材

蛍光塗料や反射塗料を製造販売しており、視認性の高さから近年では河川の水位表示など、防災対策用としても需要が拡大しています。

建築物用塗料

主に住宅やビルなどの建物の外装、内装に使用されています。遮熱塗料や有害物質を一切含まない塗料など、環境負荷低減に貢献できる製品も開発しています。

照明機器

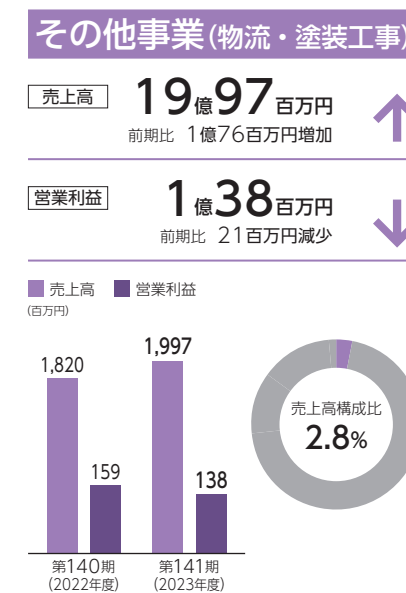
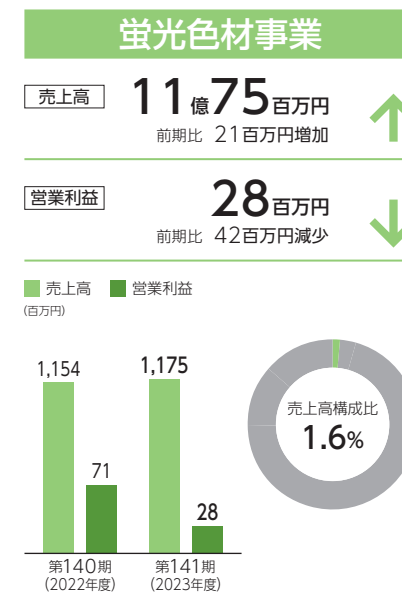
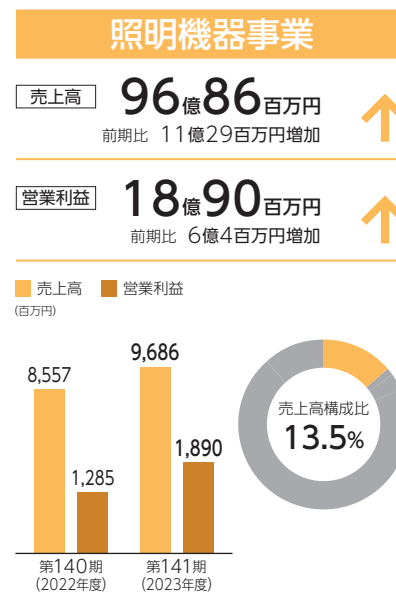
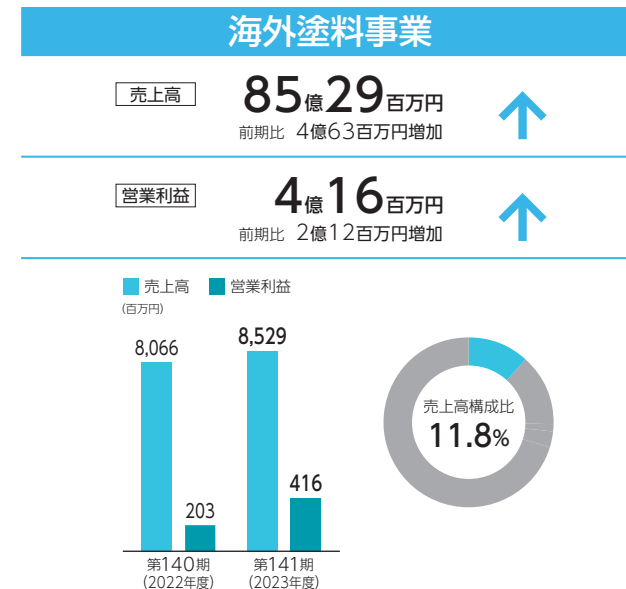
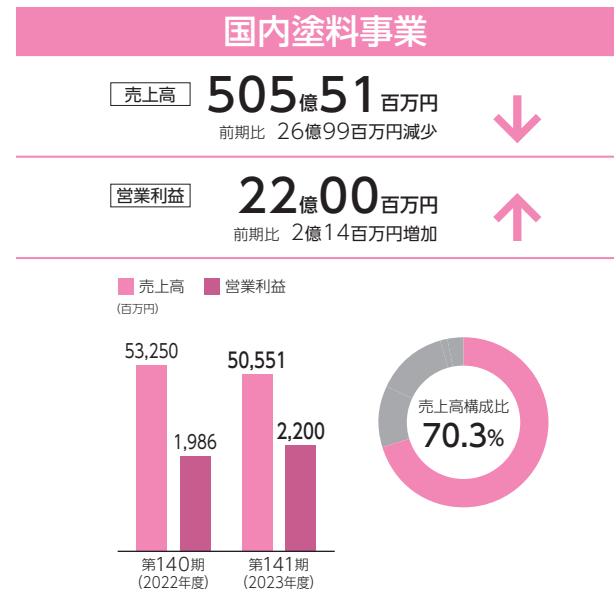
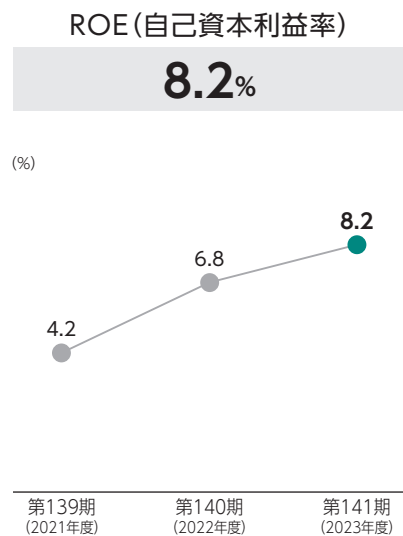
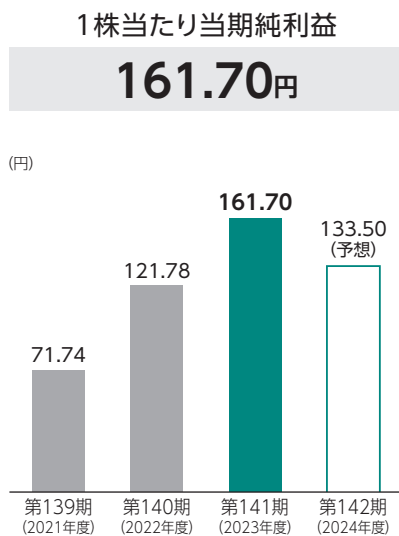
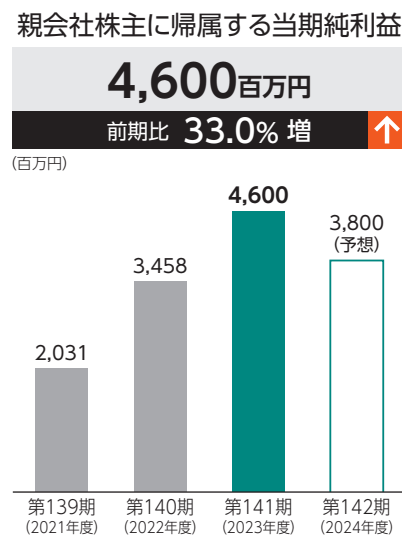
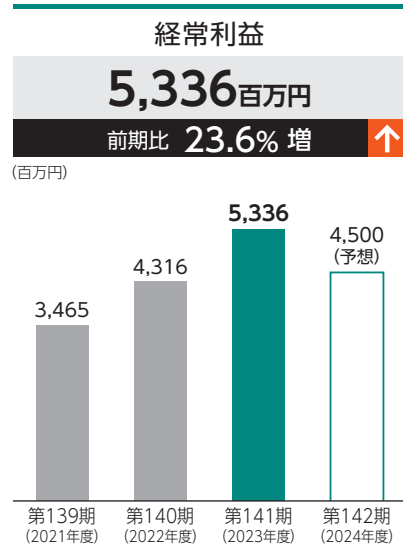
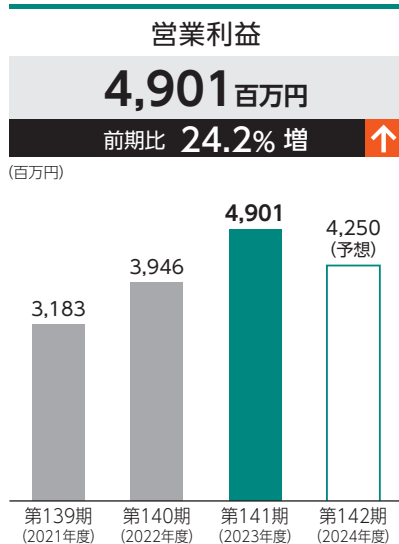
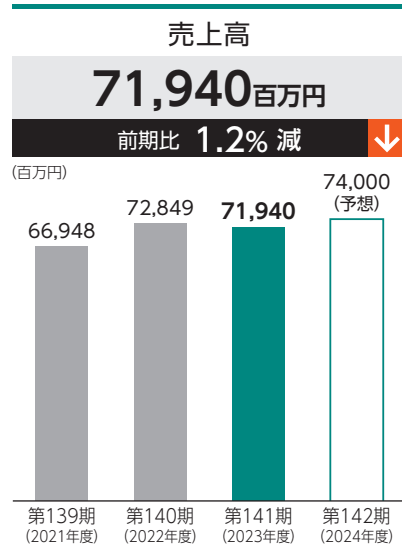
商業施設や医療機関で使用される高級志向の照明機器において高いシェアを有しています。最近では住宅照明や紫外線除菌装置なども展開しています。

LED照明

工業用塗料

鉄道や自動車、その他工業製品に使用されています。当社はインクジェット用インクも手掛けており、塗料とインクを組み合わせた複合塗装も当社の強みです。

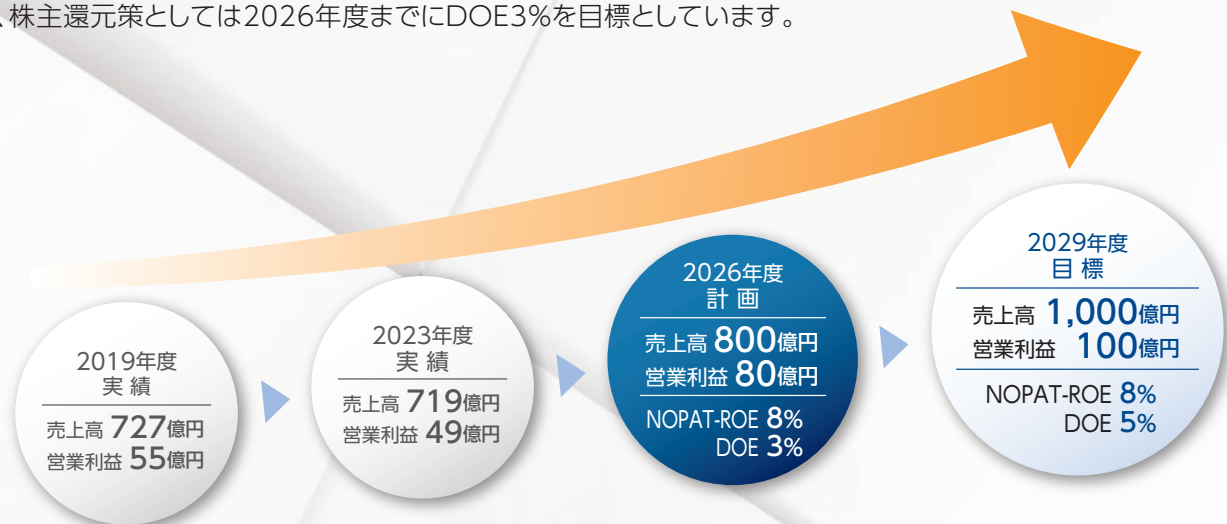
詳細は当社ウェブサイトに掲載されている投資家情報をご覧ください。
<https://www.dnt.co.jp/ir/financial/highlight/>
 トップページ>投資家情報>業績・財務情報>業績ハイライト



特集 「2026中期経営計画」スタート

当社は創立100周年を迎える2029年度におけるありたい姿として、連結売上高1,000億円、連結営業利益100億円、NOPAT(税引後営業利益)-ROE8%程度、DOE(株主資本配当率)5%到達を「ビジョン2029」として明確化いたしました。今年度よりスタートする3か年の「2026中期経営計画」においては、ビジョン2029の実現に向けた事業戦略と基盤の深化に注力し、3つの基本方針に取り組みます。

最終年度である2026年度の連結業績目標は、売上高800億円、営業利益80億円、NOPAT-ROE8%程度とし、株主還元策としては2026年度までにDOE3%を目標としています。



「2026中期経営計画」の基本方針及び施策

成長市場と先駆的領域への注力	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の有機成長の推進と、新たな成長ドライバの育成に向けた、リソース配分の最適化と戦略投資の実行 顧客ニーズに沿ったサステナ貢献製品・海外製品等、開発力の強化
外部リソースの獲得・活用による事業基盤の拡大	<ul style="list-style-type: none"> M&Aや業務提携等のアライアンス活用による塗料事業の基盤拡大及び抜本的効率化 自立的な事業推進に向けた外部リソース獲得による海外事業基盤の拡大
人材及び事業活動の全社最適化	<ul style="list-style-type: none"> 採用・育成強化及び人材配置の最適化、職場環境の整備 製品開発力と総合提案力を最大化する組織・グループ間協働の強化 適時適切な設備更新及びDXの活用による、生産性の更なる向上

▶ 詳しい内容につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.dnt.co.jp/ir/management/vision/>



Topics

トピックス

「TOYOTA Engineering Society MIRAIDON」に採用されました

トヨタ自動車株式会社内の有志団体であるトヨタ技術会が株式会社ポケモンとともに始動した「トヨタミライドンプロジェクト」にて製作された「TOYOTA Engineering Society MIRAIDON※」に、当社の金属調塗料が採用されました。当社が出展した塗料展示会をきっかけにトヨタ技術会会員の方にプレゼンを行った結果、当社の金属調塗料の強みである発色の綺麗さが評価され、ボディの大部分に採用いただきました。

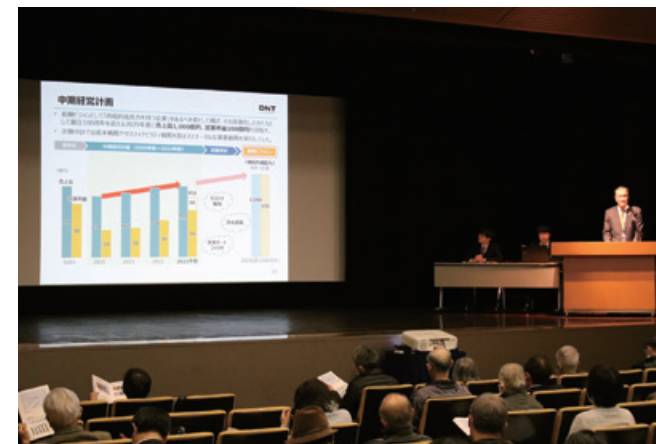
※トヨタ技術会の経験と技術、ポケモン社の協力で作り上げた、伝説のポケモン「ミライドン」の形をしたミライモビリティ。

▶ プロジェクトの公式YouTube動画には当社社員も登場しています。ぜひご覧ください。



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.

個人投資家向け IR セミナーに参加しました



2024年3月22日、日本証券新聞社主催の個人投資家向け IR セミナー(大阪開催)に参加しました。代表取締役社長の里が登壇し、会社概要や成長戦略について、来場いただいた230名の個人投資家の皆様に対して説明しました。セミナー後に実施したアンケートでは、回答者の半数以上の方に「投資したい」「投資を検討したい」と回答いただきました。

▶ セミナー資料はこちらからご覧いただけます。



株式の状況／会社概要

(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 93,280,000株
発行済株式の総数 29,710,678株
株主数 18,187名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,751	9.6
明治安田生命保険相互会社	1,400	4.9
DNT取引関係持株会	1,377	4.8
株式会社三菱UFJ銀行	1,228	4.3
ダイニッカ株式会社	1,215	4.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,117	3.9
東京海上日動火災保険株式会社	1,013	3.5
富国生命保険相互会社	1,000	3.5
株式会社島津製作所	1,000	3.5
田邊康秀	829	2.9

(注1) 自己株式(1,246,411株)を除いて記載しております。

(注2) 持株比率は自己株式(1,246,411株)を控除して計算しております。

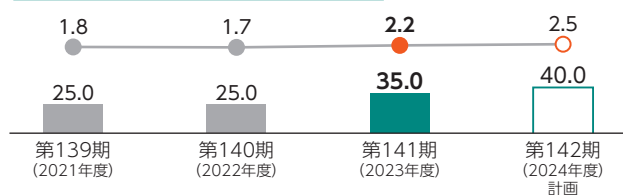
会社概要

商号	大日本塗料株式会社 Dai Nippon Toryo Company, Limited
本社	〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11
設立	1929年(昭和4年)7月25日
資本金	8,827百万円
従業員数	2,113名(単体:655名)
主要な事業内容	塗料・ジェットインクの製造、販売 各種塗装機器装置の販売、塗装工事等

株主様への還元方針

当社は、株主の皆様に対する配当額の決定を経営上の重要課題の一つとして位置付けており、企業体質の強化、財務内容の健全性維持に努めつつ、業績に応じた配当を安定的に継続実施することを基本方針としております。

配当金/DOE(株主資本配当率)の推移



株主優待制度

保有株式数	優待内容	
	継続保有1年以上3年未満	継続保有3年以上
100株以上 1,000株未満	QUOカード 1,000円分	QUOカード 2,000円分
1,000株以上	QUOカード 3,000円分	QUOカード 5,000円分

《対象となる株主》

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単位)以上を1年以上継続保有する株主様

詳細は当社ウェブサイトにも掲載しております。

<https://www.dnt.co.jp/ir/stock/dividend/>

トップページ>投資家情報>株式情報>株主還元(配当・優待)



Stock Information/Corporate Profile

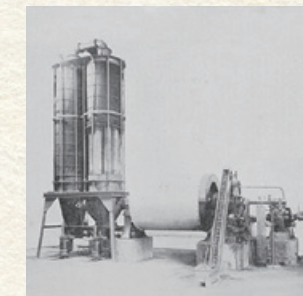
大日本塗料 2029年度 創立100周年に向けて

100年のあゆみ 第1回

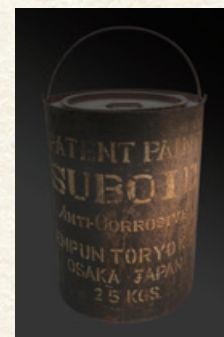
1920年

創業の原点「易反応性鉛粉製造法」を開発

当社の初代社長で発明王といわれた二代目島津源蔵氏が、(株)島津製作所から発祥した日本電池(株)[現(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション]の社長時代に、鉛蓄電池に用いる鉛粉の製造技術「易反応性鉛粉製造法」を開発。この発明によって日本の蓄電池の性能が飛躍的に向上しました。



鉛粉製造に用いる亜酸化鉛製造機



当時のズボイド塗料缶

1927年

創業製品「ズボイド」の誕生

島津氏は鉛粉の特性を応用して新しい錆止塗料を開発することを発案し、後に当社の二代目社長となる根岸 信氏を招聘して鉛粉による錆止塗料の開発を開始しました。根岸氏は約4年の歳月を経て、亜酸化鉛粉錆止塗料「ズボイド」を完成させました。

1927年

堂島大橋改築にズボイドが採用

「ズボイド」は世界8カ国で特許を取得するなど、外国製品を凌駕する画期的な製品となりました。そのような中で、大阪の堂島大橋の改築工事にて初めてズボイドが採用。塗装から30年後に再び改修が行われるまで全く異常が認められなかったことから優秀性が実証され、当社の防食技術の礎となりました。



ズボイドが塗装された堂島大橋